

# 歴史を訪ねて...

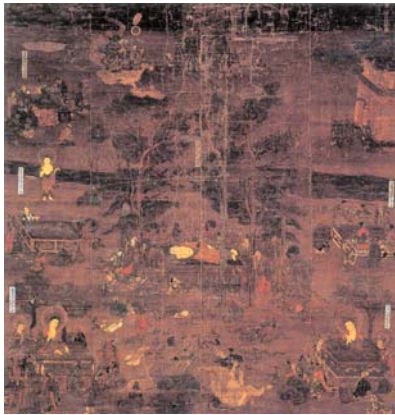
笠岡市の文化財

神島の自性院・安養院に伝わる、県内屈指のすぐれた涅槃図です。絹地（絹本）のうえに色をつけて描かれたもので、鎌倉時代の作と思われます。

涅槃図というのは、お釈迦様の入滅、すなわち涅槃のさまを描いたものです。特に、この涅槃図は、「八相涅槃図」と呼ばれる形式であり、お釈迦様の入滅を中心として、その周囲に、涅槃前後の7つのごきごきを描いています。

- ①左下 釈迦が純陀から食物の供養を受けている場面
- ②左中 釈迦が空に昇り最後の説法をする場面
- ③真中 釈迦が横たわり入滅する場面
- ④右下 釈迦が母のために起きて説法する場面
- ⑤右中 力士が棺を挙げるが動かない場面
- ⑥右上 棺が拘尸那城を七巡する場面
- ⑦中上 遅れてきた弟子迦葉のために、釈迦が棺より両足を出す場面
- ⑧左上 八国王に舍利（遺骨）を分ける場面

なお、この作品は現在、岡山県立博物館に寄託されています。



けんぽんちやくしよくぶつ ねはんず  
絹本著色仏涅槃図  
国指定重要文化財  
(絵画)

## 竹喬美術館みどころ 9

さわだ せきみん  
澤田石民展



澤田石民  
〈山村の春〉  
昭和14年頃

明治38年（1905）、京丹波に生まれた澤田石民は、京都市立絵画専門学校在学中から小野竹喬の親友であった土田麦僊に師事し、入江波光、福田平八郎らの指導を受けました。

麦僊の死後、文展など審査がある展覧会には一切出品しないとの声明を発表した「柏舟社」が親友の林司馬らによって結成されると、その第1回展から同人となって作品を発表しています。

しっとりとした穏やかな色使いで山村に訪れる春を描いたこの作品は、石民34歳の作品です。わずか39歳にしてビルマで戦死した石民が、その画業を大成できなかったことが惜しまれます。

### 展覧会と行事のご案内

#### 澤田石民展

開催中～2月1日(日)  
休館日 毎週月曜日  
開館時間 9:30～17:00  
(入館は16:30まで)  
一般500円 市内在住の小中学生及び65歳以上の人は入館無料です。  
※小野竹喬の代表作も複数展示しています。

#### 楽しむ美術講座「日本の仏」第2回

1月18日(日)  
13:30～15:00  
お申込み ☎63-3967  
※入館料が必要です。

〒714-0087  
笠岡市六番町1-17  
☎63-3967  
ホームページ  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

## 係から

「お正月を撮そう」と毎年、カメラを持ってぶらぶらします。以前はカメラを構えると衆人の注目を浴びたものでしたが、ケイタイやコンパクトデジタルカメラなどの普及で、カメラは老若男女、万人の道具になりました。フィルムは残り枚数を気に掛けることは無くなり、ファインダーに集中しやすくなったこととは裏腹に、撮る方と撮られる方との間の緊張感が無くなってきたように感じます。

今月の表紙の風景を選びに市内を散策しました。普段何気なく通り過ぎる風景も注意して見ると、違った印象を受けたり、こんな景色もあったのだと新しい発見もでき、新鮮で嬉しい気持ちになります。市内には知っているようで知らない多くのことがまだまだ沢山あると思います。

新しい年を迎え、多くの発見ができる一年にしたいと思います。

(土)

発行日／平成21年1月1日  
発行／笠岡市役所  
編集／企画政策課  
〒714-8601 笠岡市中央町1-1  
☎69-2110

印刷／(株)国輝堂 ☎67-5111



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。